

会議等名	令和8年第1回海老名市外部評価委員会
日 時	令和8年2月20日（金）14：00～15：30
場 所	海老名市役所 7階 707 会議室
出席者	外部評価委員：塩脇委員長、日吉副委員長、酒井副委員長、阿部委員、青木委員、市川委員、篠原委員、石井委員、石田委員、大関委員、清田委員、林委員（以上12名出席） 事務局：伊藤理事兼財務部長、清田財務部次長、石田財務部参事兼企画財政課長、片山政策経営係長、丸橋主事
<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 自己紹介 委員及び事務局職員が自己紹介 ※委員の自己紹介後、市長は退席</p> <p>5 委員長の選任及び副委員長の任命 ○ 海老名市外部評価委員会条例第5条第2項に基づき、委員の互選により、塩脇委員を委員長に選任 ○ 海老名市外部評価委員会条例第5条第3項に基づき、塩脇委員長から日吉委員及び酒井委員を副委員長に任命 ※選任及び任命後、伊藤理事兼財務部長及び清田財務部次長は退席</p> <p>6 議題 (1) 行政評価について 【事務局より資料に基づき説明】 【委員より意見・質問】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 個別計画の評価が難しいのは、計画に具体的でない部分が多いことが原因の1つであると思う。評価の方法について、代替案は検討されたのか。</p> <p>（事務局）行政評価とは、「総合計画に基づく『事業』の評価」であり、その「事業」とは、「個別計画」及び「予算事業」を指す。10年間の計画期間のうち、前半の5年間は事務事業評価を行ってきたため、後半は個別計画を取り扱いたい、という考えである。行政評価で個別計画を取り扱うこと自体が悪いというわけではなく、評価方法について見直すべき部分があると考えている。</p> </div>	

○ 前半の5年間で事務事業評価が一周したから個別計画に移る、という考え方も分かるが、改めてもう一周事務事業評価を行って検証していく、という考え方もあると思う。提案されている方法が最善なのか。

(事務局) これまでは、行政分野別に切り分けて事務事業評価を実施してきたが、今後は個別計画ごとに切り分けて事業評価を実施していく。見る事業は同じものだが、切り方を変えつつ、違う視点から事業を見ていただきたい。

(委員長) 事業評価は、「事業仕分け」のようなダメ出しをするわけではなく、「外部評価委員会から提案をする」という形で、市政に役立つような委員会にしていきたい。

○ グループで評価を実施した場合、前回の評価時と同じ課題(各グループで基準が異なる等)が残る課題がある。全体としてのすり合わせの方法は、どのように考えているか。

(事務局) 評価項目や評価基準については次回審議するが、評価シートを作成することで、ある程度統一されていくのではないかと考えている。評価シートの内容についても、別途ご意見を頂きたい。

○ 各グループで3回程度の評価作業を行う予定だが、1回目が終わった後に、現在の評価状況について情報共有する回があっても良いのではないか。

(事務局) 委員会からの希望ということであれば、開催したい。

○ グループ評価作業という話があったが、全員で同じ案件について見るのか、違う案件を分担して見るのか。

(事務局) 昨年度は評価対象が1計画のみだったので、1計画を分担して評価作業を実施したが、今後は複数の計画を評価していくことになると思うので、各グループで異なる計画を評価することになる見込みである。

○ グループ分けはせず、全員で評価を実施する方法はどうか。

(事務局) それも1つの方法であると思う。ただ、全員の前では発言しづらい方もいるかもしれないので、委員の皆様が評価しやすい方法で実施したい。

○ 以前は評価対象の事業が非常に多く、「各グループが実施した評価には文句を言わない」という形で実施してきたが、今後は全員で評価することもできるのでは。

(事務局) 全員で評価をすると、時間がかかるという課題もある。

(委員) 議論には限りがある。グループに分かれる前に、考え方をすり合わせておけば、グループによって大きく異なる結果にはならないのでは。

(委員) 前年度は、それでも相違が出てしまった。グループに分かれて評価をしても、最終的な報告書には自分も外部評価委員として名を連ねることになるため、他のグループが評価する事業についてもある程度知っておきたい。

(委員長) 各グループにおける考え方や基準が理解でき、それが評価の参考にもなるため、委員間の情報交換の場が必要であると考えます。

(事務局) そのような回を含めた評価スケジュールを、改めてお示ししたい。

○ 評価対象の計画はいくつあるのか。

(事務局) 現在事務局でピックアップしている計画は 17 計画となっており、4 年間で各年 4～5 計画を評価することになる見込みである。

○ 今年評価対象とする計画は、事務局で決めて示してもらえるのか。

(事務局) 各個別計画に紐づく事業の数によって、評価の負担が変わってくると思われる。計画毎の事業数は現在把握できていないため、計画の所管課へ照会し、事業数のバランスを踏まえた案をお示ししたい。

○ グループ分けはどのように行うのか。

(事務局) 例年、各委員の希望を取っている。委員長と副委員長においては、3 グループに分かれてグループリーダーとなっていていただいている。

○ 調書を作成するのは、計画や事業の担当課か。

(事務局) お見込みのとおり。

○ ヒアリングは、市の職員に対して実施するのか。利害関係者へヒアリングをすることは可能なのか。

(事務局) 担当課が、利害関係者からの意見も踏まえて調書を作成することとしたい。

(委員長) 「透明性の担保」という話だと思う。外部評価委員会では、あくまでも「市の行政評価」を評価する。パブコメの結果等を参考にしながら、評価されたものに対して評価していく、という形で行っていきたい。

○ 事業評価をする際、事業計画書を提出してもらうことはできるのか。

(事務局) 事業評価シートに概要、目標と実績、予算、決算等を記載するよう依頼予定のため、シートを基に評価を実施していただきたい。調書で情報が不足する場合は、ヒアリングや追加資料の提出の対応を依頼するようになりたい。

○ 市のホームページで行政評価の結果を見るに、これまでも評価は5段階で実施されていたが、昨年度はなぜ評価結果がうまくまとまらなかったのか。

(事務局) 前年度は、計画の進捗状況ではなく、評価結果の「妥当性」を評価したため、諸問題が発生した。

○ 事務局が最終的に期待しているのは、次年度予算への反映なのか、計画そのものに反映することなのか。

(事務局) 外部評価委員会は、市が実施する行政評価の客観性・信頼性を確保するための委員会であり、次年度予算への反映は必須ではない。

ただし、次年度予算に反映できる時期に評価結果がまとめれば、事業が改善できることに加え、外部評価に対する成果にもなるため、そのようなスケジュールをお示しした。

○ 提示されたスケジュールで、次年度予算への反映が可能なのか。

(事務局) 予算編成は10月からのため、可能である。

(2) その他

次回の委員会の開催日については、候補日をメールで照会し、調整する。

7 閉会